



日本知能情報ファジィ学会 研究最前線

Android 研究開発の先駆者

石川工業高等専門学校 准教授 越野 亮 先生に聞く

石川工業高等専門学校 電子情報工学科 越野 亮先生は、日本知能情報ファジィ学会北信越支部で会計幹事をされている。福井で開催された FSS2011 では、実用的なアプリケーションを開発され、デモセッションでも大活躍されていた。実は、スマートフォンアプリケーションでは、日経 Linux で [記事を連載](#)されるほどの実力の持ち主である。2011 年 2 月号から「イラストで分かる Android アプリ作り」(6 回)、8 月号から「Web 感覚で作る Android アプリ」(6 回)を執筆され、現在も「Android で動く Web アプリ開発」を日経 Linux で記事を連載されている。連載された記事は、日経 BP 社から「[触れば分かる Android アプリ開発超入門](#)」として出版されている。

SOFT SNS を積極的に活用され、ご自身の研究に関する情報を発信されているだけでなく、会員が投稿したいろいろな情報に対して、細かいコメントを残されている。しかも、そのレスポンスは非常に早く、分からないことを質問しても、的確な回答をすぐにいただいている。学生さんからの質問に対しても面倒がらずに、分からないところを分かるまで、丁寧にかつ熱心に教えている姿をたやすく想像することができる。

このようなご活躍のもとになっていることのひとつに、2009 年度上期の IPA 未踏人材発掘・育成事業に採択されたご研究「ライフログを安心して活用できるプラットフォーム」がある。

プラットフォームは 3 本柱になっていて、「① Android スマートフォン」と「② 独自開発のセンシングデバイス」と「③ Google App Engine 上で動く



ライフログを安心して活用できるプラットフォームの概念図



クラウドアプリケーション」を組み合わせたシステムとして提案されている(上図は独自に開発されたセンシングボード、右図は開発した Android アプリケーション)。現在では様々なアプリケーションの基本概念で使用されているシステムの先駆者と言っても決して過言ではない。



また専攻科の学生さんと地元企業と共同研究開発として、組込み技術者のための教育教材を開発するなど産学連携にも熱心な活動をされている。

研究開発、教育、産学連携すべてに熱心に活動されており、私たちも見習わなければならないところをお持ちの若手研究者の一人である。ところで、左図のマンガはご自身で描かれたのであろうか。そうだとすれば、私には真似することができない才能をお持ちのようだ。(文：市村匠， 県立広島大学)



会員紹介：

日本知能情報ファジィ学会会員  
越野 亮 博士(工学)

石川工業高等専門学校  
電子情報工学科 准教授

<http://sns.j-soft.org/A10001>

<http://koshinolab.jp>